

# 小山勇朗市議会報告

2023年  
1月15日

社民フォーラム  
市議団  
「太白事務所」

## 仙台市議会議員小山勇朗の議会報告

令和4年・第4回定例市議会は、去る12月7日に召集され、物価高騰対策の補正等計22議案22議案を審議し、22日に閉会しました。補正予算は、源泉所得税の納付遅延、不納付加算税の他、静岡県で起きた通園バス置き去り事故を踏まえた保育施設等送迎バス安全装置導入補助、物価高騰対策として、市立病院や福祉施設等に対する光熱費等助成、廃棄物収集運搬・貨物自動車運送事業者、観光バス事業者への燃料価格高騰対策支援、更に、バス、タクシー等公共交通運行継続奨励金、肥料・飼料高騰対策として農業経営緊急支援金などが盛り込まれました。これらについては10月に、社民フォーラム議員団が物価高騰対策に関する要望書を市長宛に提出したことが反映された形となりました。

また、道路・橋梁・都市計画街路事業・公園整備等に関する国の補助事業認証決定見込みによる経費の追加も計上されました。新型コロナ対策としては、ケア付き宿泊療養施設運営経費が追加されました。市職員の事務処理ミスで延滞税145万円不納付加算税4800万円の計4,948万円を税務署納付せざるを得なくなり、市長及び副市長の給料月額50%、3ヶ月間減額、総務局長・次長を減給10%、3ヶ月担当部長・課長を戒告処分とすることになりました。他には、オンラインによる行政手続き等の条例が提案され可決されています。また、職員の給与を月額792円、一時金0.05月引き上げる条例の改正案も可決しています。

### 南仙台駅利用者に関する仙台市の調査結果について

仙台市による南仙台駅の乗降客調査報告が出来ました。◎駅利用者及び自由通路利用者については、駅利用者のうち、乗車に関して、駅の東側・西側それぞれからの利用者の割合は、東側は54%(3,705人)で、西側は46%(3,209人)。降車に関して、東側は55%(2,871人)で、西側は45%(2,332人)と東西で同程度となっています。駅利用者の属性は西口に関して大人90%、学生6.6%、東口は大人71.4%、学生25.3%となっています。なお、自由通路の利用者(5,998人)の9割以上が駅利用者となっています。「休日」の駅利用者については、東側は60%(2,100人)で、西側は40%(1,411人)。降車に関して東側は61%(1,572人)で、西側は39%(1,018人)となっています。乗車ピークは8時台、校舎のピークは17時台であることが考えられる。自由通路の利用者は2,788人の9割が駅利用者となっています。「南仙台駅でのお困りごとや改善してほしい点についていただいたご意見」として①電車に乗るまでの距離が遠い、②電車に乗るまでの階段の上り下りが多い、③西口改札がほしい等、駅西口の利便性向上に関する意見が多くありました。その他として自由通路への老朽化対策、駅舎・駅内階段への老朽化対策もありました。今後、調査結果及び利用者のご意見を尊重し、勉強会を結成しながら問題解決に向け取り組んでまいります。

採択された意見書は次の通りです。

①免税経由制度の継続を求める件、②帯状疱疹ワクチンの定期接種化、または接種費用補助制度の創設を求める件、③知的障害者の定義及び療育手帳の交付に係る判定方法等の法制化を求める件

#### ◎障がい児通所支援事業所送迎バス等安全装置導入支援事業の補助金について

補助基準は、1台20万円とし、児童の置き去り対策として安全装置が義務化され装置の導入に要する経費です。児童発達支援センター11事業所、台数20台、400万円、児童発達支援事業3事業所、台数6台120万円、放課後等サービス166事業所、台数577台、11540万円を予算化、令和5年4月～安全装置義務化

#### ◎保育施設等送迎バス安全装置導入支援事業費補助金について

補助基準は1台20万円、認定こども園25施設、71台1420万円、認可外保育施設6施設、台数9台、180万円、民間児童クラブ8施設、台数8台160万円のとおりです。本市の認可保育所、地域型保育事業所は送迎バスを所有していないので掲載せず。令和5年4月～安全装置義務化、いずれも1年間の経過措置

◎全ての区の税、戸籍等の窓口における、証明発行手数料のキャッシュレス決済の導入についてお知らせします。行政デジタル化の取組の一環として、令和3年12月から青葉区役所の戸籍住民課及び税務会計課のまどぐちにおいて、キャッシュレス決済を先行導入しておりましたが、この度、全区の区役所、総合支所仙台駅前サービスセンター(アエル5階)で令和4年12月21日より導入しました。対象となるのは、住民票、課税証明書などの証明発行に係る手数料。利用可能な決済手段としてはクレジットカード、電子マネー、二次元コードマネー決済であります。

◎◎四郎丸小学校の校舎解体工事について、工期は令和4年10月20日～令和5年8月31日、現場着工予定日は令和4年12月に現場事務所棟設置。

発注者は郡市長、発注課・教育局総務企画部施設課、工事管理は仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課・設備課です。

施工について、1.休業日は日曜日、祝日は原則として現場作業は行わない  
2.作業時間は原則として午前8時から午後6時まで(準備、後片付けの時間を含む)  
工事の流れは、令和1月・2月仮設工事、2月⇒4月石綿除去工事、1月から4月内部造作解体工事、4月から5月上旬躯体解体工事、6月⇒7月基礎解体工事、7月8月外構解体工事の予定としております。工事期間中は大型車両の通行や工事車両の増加など、児童の通学にはご迷惑やら危険もあると思われるので注意してください。校舎解体工事が終わるとグラウンドの整備が始まり、これまで東四郎丸小学校のご協力を得ながら行ってきた体育祭が令和6年春には実施できると思います。

◎太白消防団東中田分団四郎丸部コミュニティ消防センター建設工事が、ようやく入札できたので始まります。入札不調により3年ほど遅れてしまいましたが、地域の安心・安全、更には火災等が発生した際には東中田消防分団員の四郎丸部が待機する場所にと要望されていた施設がようやく建設されることができるので地元議員としても感激であります。